

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090100567		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム長野吉田		
所在地	長野県長野市吉田2-33-24-4		
自己評価作成日	平成 28年 5月 4日	評価結果市町村受理日	平成 28年 6月 29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai.gokensaku.jp/20/1/index.php?act=1&kouhyou_detail_2015_022_kanji=truse&li_gvosvoCd=2090100567-00&PrefCd=20&Ver.si.onQt=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	平成 28年 5月 25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者の個性を生かし楽しみや役割をもってもらいながら生活ができるよう支援している。利用者の生活の意向に焦点を当ててケアプランを作成し、個別ケアの実践に繋げている。タクティールケア、アロマ、アニマルセラピーを実践しながら認知症緩和に取り組んでいる。またスタッフが認知症サポーターとなり地域に貢献できるよう努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

閑静な住宅街にホームはあり、今年3年目を迎え、徐々に地域や周りの事業所とのつながりができている。企業理念を基にしホームの目標が立てられており、理念や目標を具体化できるよう日夜取り組んでいる。入社時にビジョンを始め業務の基本的なことを習得するための「導入研修」をしたり、日頃職員に対して感謝の言葉を述べ、また、随時面談をするなど、法人として介護職員の定着に取り組んでおり、最近では職員の離職率が下がっている。年間の研修計画も立てられ様々なことを学ぶことができ、職員のスキルアップにも繋がっている。また認知症高齢者に対するケアの一環としてタクティールケアやアロマセラピー、アニマルセラピーなどに積極的に取り組み、利用者一人ひとりの心身の維持向上に役立っている。防災面では法人の事業所が熊本地震で被災し、法人内で経験を共有できるようにと課題を整理中であり、今後の防災対策に活かす予定である。身体拘束廃止の強化月間や不適切ケアチェック表でのチェックによってスタッフの人権意識も高まっている。大きな組織であるが個々の事業所の独自性を大切に、また、それぞれの事業所で効果の見られた取り組みの発表会をそれぞれの地域で実施するなど、そのノウハウを地域にも還元しようとしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		